

**夏の節電へのご協力
ありがとうございました**

この夏は、対前年比15パーセントの節電目標をおおむね達成することができ、計画停電や大規模停電を回避することができました。皆様のご協力、ありがとうございました。

**この冬も
節電が必要なの？**

東日本大震災等により被害を受けた東北電力の発電所は、順次復旧してきていますが、この冬も供給力不足が想定されています。

今のところ、東京電力などからの電力融通により計画停電は回避できる見込みですが、突発的な事態に対処するともに、省エネ型のライフスタイルを実現していくため、この冬も節電へのご協力をお願いします。



なお、数値目標は定めませんので、健康や安全に十分留意し、無理のない範囲での取り組みをお願いします。企業活動・生産活動へのご負担となるような節電も必要ありません。

**私たちは
何をすればいいの？**

夏と異なり、冬は夕方5時から6時頃が電力使用のピークとなる傾向にあります。この時間帯を中心として、日中の全体的な節電に心がけましょう。

●この冬の節電対策の実施期間・時間／12月1日から3月30日までの平日（年末年始の12月29日から1月4日を除く）の9時から21時まで

●問合せ／仙北市管財課
☎（43） 1114

冬の節電対策のお願い

家庭での取組ポイント

- ☑ 暖房は「室温 20℃」を目安とし、厚着するなど暖かい服装で過ごします。（健康や安全に十分留意し、無理のない範囲で行います）
- ☑ 夕方の時間帯では、消費電力の大きな電気機器の重複使用を控えます。
- ☑ 不在の部屋や明るい室内は消灯します。
- ☑ 暖房便座と洗浄水の温度は低めに設定し、使用しないときはフタを閉めます。
- ☑ 使用しない電気機器は、プラグを抜きます。

オフィス等での取組ポイント

- ☑ 事務部門を中心として、照明の間引きや未使用エリアの消灯をします。
- ☑ 暖房は「室温 20℃」を目安とし、「ウォームビズ」を実践します。（健康や安全に十分留意し、無理のない範囲で行います）
- ☑ 使用していないOA機器は、電源を切ります。
- ☑ 節電担当者を決めて、節電パトロールを行います。
- ☑ 職員や従業員に対して、家庭での節電を呼びかけます。



仙北市×台北市 親善と協力 末永い交流誓い合う

特別天然記念物である北投石の産地は、仙北市の玉川温泉と台北市（台湾）北投温泉の世界で2箇所だけです。この共通点を持つ市の交流は、昨年10月、門脇市長が台北駐日経済文化代表処を訪問した際に、馮寄台代表へ北投温泉との交流の希望を伝え仲介の労を依頼したことに端を発します。11月の訪台の際には台北市の温泉管理をする台北自來水事業処長と面会し、温泉協定の意向を伝え相互の理解および友好を推進することについての希望を申し入れました。

北投石が結ぶ 温泉提携協定



温泉協定調印式は8月19日、佐竹敬久秋田県知事が立会人となり、門脇市長、玉川温泉関社長出席のほか仙北市国際交流協会（高橋練三会長）の参加協力を得て、関係者約150人が出席し、台北市役所で開催されました。台湾原住民姿の小学生の歓迎の踊りで幕開けした調印式では、郝龍斌台北市長は「秋田との交流が温泉のように熱く脈々と続くように祈る」と挨拶。続いて佐竹知事が「北投石が取り持った縁を台湾と秋田の絆を深める契機にしたい」と述べました。玉川・北投両温泉の温泉水の一つの容器に入れた「温泉融合式」、台北市長や秋田県知事、仙北市長等の鏡開きが行われ、提携を祝うとともに、会場からは大きな歓声と拍手が沸き起こりました。



澄清湖「辰子飛翔の像」前で

姉妹湖提携続く交流 「田沢湖と澄清湖」

昭和62年11月4日、田沢湖国際交流促進協議会（当時吉田淳二会長、現仙北市国際交流協会）が、田沢湖と澄清湖との世界初の「姉妹湖」提携のため、澄清湖を管理する「台湾省自來水公司」を訪れ、澄清湖畔にて調印を行いました。以後、相互の訪問交流、提携3周年には、有賀敬子氏製作の「辰子飛翔の像」が澄清湖へ、「飲水資源像」が田沢湖へ贈られました。また、観光写真展の相互開催などを行い、提携当初の目的でもあった観光客誘致にも寄与しています。24年前の姉妹湖提携も台湾駐日代表の仲人によるもので、この度の温泉友好協定提携調印もその延長線上にあり、台湾外交部の特段の協力・支援体制がなければ成し得ないことでした。

東日本大震災に 対する義援金

3・11の東日本大震災に対する義援金として、台湾省自來水公司より84万7404円が送られました。以前、台湾が台風被害を受けた際、田沢湖国際交流促進協議会が義援金を送った経緯から、「日本の田沢湖に愛を送ろう」と募金を募り、田沢湖国際交流促進協議会に送金されました。仙北市は震災の影響も少なかつたため、台湾側にも了解を経て、災害協定を結んでいる岩手県宮古市・山田町・大槌町へ仙北市国際交流協会として義援金を送りました。

各分野での 交流・発展に期待

田沢湖と澄清湖の姉妹湖提携が25年の節目を迎える来年。また、今回の玉川・北投両温泉の温泉提携協定を契機に、環境保全、北投石の技術研究や都市行政、観光客誘致など多分野での支援や協力が期待されます。高橋会長は、「姉妹湖提携に続きこの度の温泉提携により、仙北市の観光産業発展のすそ野を大きく広げた意味は大きい。さらにこの関係を拡充し、不況下の現状に対して、明るい未来への光となるよう力を合わせていきたい」と話しました。